

第54回 秋季市民体育大会 バドミントン競技の部

新型コロナウイルス感染対策のための注意事項

★会場出入口及び施設利用等

- ① 37.5度以上もしくは平熱より0.5度以上高い場合の入場を禁止する
- ② 入場者を制限する。観覧は禁止し、試合参加者、役員、顧問のみの入場とする
- ③ 体育館入館時は必ずマスクの着用をする。(マスク未着用入館禁止)
- ④ 体育館入退館時に必ず手洗いか手指のアルコール消毒を行う
- ⑤ 外履きは各自ビニール袋に入れ自分で管理し、下駄箱は使用しない
- ⑥ 試合着で来場し極力更衣室は使用しない。ロッカー、シャワールームは使用禁止とする。更衣室は、密を避けるよう各自が心掛けて利用する。
- ⑦ ゴミは各自が持ち帰り、自宅で処分する。
- ⑧ 試合が終了した選手は、速やかに帰宅すること(基本的に応援等での居残り禁止)

★競技会場(競技スペース)及び競技関係用具類等

- ① フロアの入退場時に必ず手指のアルコール消毒を行う
- ② 遮光性に配慮の上、可能な限り窓や扉を開放して行う
- ③ 換気の悪い密閉空間とならないよう十分な換気を行う
- ④ コートサイドに選手が各自のバッグを持参し、飲み物も各自バッグに収容する
- ⑤ 各試合終了時に、コートのモップ掛けを行う
- ⑥ 線審は、試合終了後に線審席を消毒する(線審セルフジャッジの導入可能性あり)
- ⑦ 得点板は使用しない
- ⑧ ボールペンや審判用紙のボードは、こまめに消毒する
- ⑨ マイクを使用の際は、マスク着用を必須とする

★競技関係者及び競技中の確認事項

- ① 主審、線審は、マスクを着用する(水分補給に留意する。)
- ② 主審・線審は途中で交代しない
- ③ コートへの入退場は、速やかにコートに集合する
移動の際はソーシャルディスタンスを確保する
- ④ 選手同士や審判との握手は行わない
- ⑤ トスは2m以上離れて行う
- ⑥ シャトルの交換は選手が行う。各コートにシャトルの入った筒を配布する
- ⑦ 審判用紙に勝者サインはしない。試合終了時、勝者名を主審が読み上げ確認する
- ⑧ ラケット・タオル等の用具の貸借はしない
- ⑨ 床の汗拭きは、モップもしくは所定の用具を使用する
- ⑩ 汗を手で拭かない
- ⑪ 汗をコート内やコートサイドに投げない

- ⑫ シューズの裏を手で拭かない
- ⑬ 意識的に試合中の声出しはしない
- ⑭ プレーヤー同士やコーチとハイタッチ等の接触を行わない
- ⑮ コーチングは一定の距離を保ち、必要最小限に短時間で行う
- ⑯ 応援は、声援を不可とし拍手に限定し、観覧席で行う
席を移動しての応援や手すりからの応援はしない
- ⑰ 観戦の際には、待機中の選手もマスクの着用を義務づける
- ⑱ 会場内での諸注意等を事前周知する
- ⑲ フロアに降りられるのは当該チームの選手、線審要員、顧問、コーチのみとする。

★ 大会参加者に関する留意事項

- ① 学校、チーム単位（個人参加は各自）で当日出場選手の健康チェックシート（自宅で検温）を受付時に提出する。過去2週間以内に以下に該当する場合は自主的に休ませてください。
 - ・くしゃみ、咳、喉の痛み、微熱以上の発熱の症状
 - ・倦怠感や息苦しさがある ・嗅覚や味覚の異常がある
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航または当該在住者と濃厚接触がある場合
- ② 学校、チーム単位で参加の場合、各日・会場ごとに参加者名簿を作成しておき、1カ月は保管する
大会主催者への提出の必要はありませんが、大会参加後、2週間以内に新型コロナウイルス感染者が出た場合に、保健所や医療機関に提出することや、感染経路を辿るために必要です。
- ③ 大会参加後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者（運営責任者）に、速やかに濃厚接触者の有無等を報告する